

都立大塚病院
地域連携医科研修会

日時

令和6年10月10日（木）19:30~20:30

演題：「尿路結石の最新治療～高齢者に対する碎石術～」

講師：泌尿器科・尿路結石センター 部長 高沢 亮治

カリキュラムコード： 0

※日医生涯教育講座参加証（1単位）は後日郵送させていただきます。

2015年の尿路結石症全国疫学調査によると、「結石世代」とも言える年齢層（男性1954～1965年、女性1944～1955年生まれ）が存在することが示唆されました。この年齢層はこれから70代になることから、高齢者の尿路結石を診療する機会は今以上に増えると予想されます。高齢者に対する碎石術の適応は、基本的に非高齢者と同じですが、個々の全身状態に配慮しなければなりません。一見、ESWL（体外衝撃波による碎石術）は高齢者でも受けられる低侵襲治療のように思えますが、実際は破砕装置の上で長時間動かないように協力してもらえないと治療できません。よって認知症のある高齢者や長時間体位を維持できない高齢者は、全身麻酔下でのTUL（尿路内視鏡による経尿道的碎石術）を選択することが多くなります。高齢者に対するTULは、女性の比率が高く、尿路感染が多く、麻酔リスクも高いといった特徴があります。さらに「寝たきり」高齢者となると、致命的な合併症も起こりうる命がけの手術となります。当科は尿路結石センターとして、このようなハイリスク症例を診療圏外からも広く受け入れています。本研修会では、これまでの経験を交えながら詳しくお話しします。

お申し込み方法

- Web開催（Cisco webex）お申し込み頂いた全ての方のご参加が可能です
- ご希望の方はGoogleフォームまたはメールにて①～⑧の内容を送信してください。
①氏名 ②職種 ③メールアドレス ④所属施設名 ⑤所属医師会 ⑥電話番号
⑦日医生涯教育講座参加証希望有無（※医師のみ） ⑧住所（⑦で「有」の方）
- 申し込み締め切り日：令和6年10月3日（木）
- 開催前に招待メールを送らせていただきます。
前日までに届かない場合は恐れ入りますが下記担当までご連絡ください。

★Googleフォーム用
QRコード

★メールアドレス

ot_renkei@tmhp.jp